

事業計画書

① 団体名	一般社団法人 にいみ木のおもちゃの会		
② テーマ区分	指定テーマ(身近な生活におかやまの木材を)・自由テーマ		
	該当するものを○で囲み指定テーマの場合は番号を記入してください。		
③ 事業名	にいみ木にかかわりビトプロジェクト	④ これまでの採択回数	0 回
⑤ 現状及び課題	<p>「木のおもちゃ」に関わる会やワークショップの積み重ねにより、当会へのワークショップ等の依頼件数は増えてきている。あらゆる年代の人達が木に関わり、おかやまの木材に親しめていないのが課題である。「木育」体験の提供により地域活性化を図りたい。</p>		
⑥ 事業内容	<p>1 新見産材等を活用した木製品の企画や木育活動の実施</p> <p>(1) ひのきの香り玉プロジェクト2020実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新見産のひのきを使用し、「にいみのひのき玉のプール2500個」の完成を目指す。</li> <li>・地域の方々と一緒に「ひのきの玉をみがく」という木に触れる体験に取組み、またその木の玉のプールで子どもたちが五感を使って遊ぶことで、地域全体が新見の豊かな森林資源を身近に感じ、各々が木の文化について主体的に考えるきっかけづくりにつなげる。</li> <li>・県立健康の森学園(主に中学部)と連携し、「ひのきの玉を磨く」作業学習をとおして、木の温かみ、香りを感じながらこのプロジェクトに参画いただき、地域参加を共に推進する。</li> </ul> <p>(2) 新見産材「積み木」の普及活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 保育所、こども園等で、KUMINO(新見産の立体積み木)を製作している井上氏(滋賀県)によるワークショップを企画、実施する。</li> <li>② 県産材ひのきの積み木や木のおもちゃを市内の福祉施設、事業所、学校、子ども園、図書館、公民館等に贈り、広く市民の方との「木」とのふれあいの場を提供する。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・県産材や新見材への理解を深める契機とし、「木」の利活用についての市民の意識調査を行う。まとめた成果を県の木材利活用の推進に活かす。</li> </ul> </li> </ul> <p>(3) 「木のジャングルジムくむんだー」の製作と普及。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校等の課外授業での活動をとおして、新見産材に触れ、木質、温かさなどの魅力を体感し、また釘を使わない伝統技法などを使用して組み立てる技の体験活動を行う。</li> <li>・新見独自の教育玩具として、保育所、子ども園を対象として、小型「ミニくむんだー」を製作し、現場の意見を聞きながら改善していく。</li> </ul>		

	<p>2 木育の普及・啓発</p> <p>(1) 「3密を回避したオンラインや紙上での木育普及」の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により多くの人が集えない状況の中で、地元ケーブルテレビや新聞、SNSを通じて、森林資源豊かな新見の良さと岡山県産木材の普及に関する情報を発信していく。具体的な内容については、県民局や近畿中国森林管理局森林技術・支援センター(新見市)等と相互の連携を図るほか、新見市のみならず東京おもちゃ美術館や他地域の林業関係、木育関係団体等とも連携を図りながら実施する。</li> <li>・乳幼児からシニア世代まで、様々な年代が木育を体感し、交流できる内容として、年間を通した情報発信とする。</li> </ul> <p>(2) 他地域(備中県民局管内)団体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タウンミーティングを実施し、各団体の強み(理念や目的)や弱みを共有し、力を出し合える関係性を構築する。</li> <li>・「木育」先進地より講師を招聘し、備中県民局管内の「木育」に対する意識の高揚と各団体とのネットワークを形成する。</li> </ul> <p>(3) 木育を展開するための人材育成、「木育プログラム」の開発に向けての検討</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「木育プログラム」に係る研修会の実施。 「木育」の講師を招聘し、会員の「木育」に対する理解を深める。</li> <li>②ものづくりワークショップの実施 性別、年齢問わずあらゆる世代へ、木を使った「ものづくり」を身近なものとして捉えてもらうため、年齢、経験の違いに対応した「木育プログラム」の構築を模索する。</li> </ol>
<p>⑦事業目的 (目指す直接の結果)</p>	<p>子供から高齢者までの他世代の方々が気軽に交流できる機会を、ニーズに合わせて提供することを積極的に取り組み、「木育」活動を通して、森林を身近に感じ、木の持つ魅力を体感してもらう。新見産材を使った積み木等の遊びのワークショップや、ものづくりワークショップを実施し、あらゆる世代の木育への理解を深める活動を続けることで、新見が発信する「新見の木育」を、備中圏域、県内、ひいては全国へ普及することを目指す</p>
<p>⑧今年度期待される成果 (短期アウトカム) その活動で得られる利益や変化</p>	<p>「木育」の普及啓発の手法の一つとして、「木のおもちゃ」の活用をとおして、木材の良さ、森林の大切さの理解が深まり、木材を使ったものづくり体験の継続が考えられる。様々な活動により、幅広い年代、様々な職種の人材が交流することで「木育プログラム」の構築の模索が図れると考えられる。</p>

<p>⑨将来的に期待される成果 (中・長期アウトカム)</p>	<p>「木育プログラム」の構築は、木材の利活用や森林資源の保全への理解へとつながり、ひいては地域の活性化へとつながる。 新見市において発信される新見版「木育プログラム」が近隣市町村へも波及し、地域に木育に対する意識がより深まることで、生活の中に「木」を取り入れる等、県産材の利活用が促進されると期待される。</p>
<p>⑩翌年度以降の事業展開の予定</p>	<p>今年度構築する予定の備中県民局管内の他団体との連携を取り、木育活動の幅を広げていきたい。他市他団体との連携は、各々の得意とする部分を発揮し合い、岡山県の木材普及につながる活動が可能になるものと考えている。</p>
<p>⑪事業実施に関連する活動実績・アピールポイント</p>	<p>当会は、林業、医療関係、教育関係、行政等、多岐にわたるメンバーが在籍し、それぞれが持ち合わせている力を出し合える団体である。当会の「生涯木育」をテーマした活動が全国的に認められ、2年連続「ウッドデザイン賞」を受賞することができた。森林占有率約86%である新見市において、地域の木育への興味関心が必然的に高まり、木育体験や木育自然活動は年々参加者が増えている。さらに子どもを持つ親子だけでなく、幅広い年代の参加も増加してきており、地域に根ざした木育活動団体として認知されてきている。</p>
<p>⑫想定される役割分担</p>	<p><b>【団体】</b> 各事業の企画、調整、運営、広報。</p> <p><b>【県民局】</b> 各事業を実施するための他の行政機関との連絡調整や、木育推進のための資料提供。</p> <p><b>【その他】</b> 木育先進地の木育ネットワークの効果的活用。</p> <p><b>【理由・期待できる相乗効果】</b> 県民局と協働することで、新見市内にとどまらず広く当会の木育事業を広めることができると考える。</p>

<記入上の注意事項>

- 1 それぞれの項目についてはできるだけ具体的に記入してください。
- 2 「⑥事業内容」欄は、それぞれの活動について課題解決や事業目的における意味・位置づけとともに対象者、実施地域、実施方法なども記入してください。
- 3 継続事業は「⑪事業実施に関連する活動実績・アピールポイント」欄に昨年度までの採択事業の主な実績・成果も記載してください。
- 4 「⑫想定される役割分担」欄は、協働協定書等に基づき提案団体及び備中県民局、その他の役割を記入してください。